

コンパス薬局 スキルアップ勉強会

2011. 8. 4 野口

第3回 『骨粗鬆症治療剤フォルテオ皮下注キット 60 μ g』

イーライリリー 村松里美さん

参加者：西澤隆先生

松下、近藤、小林、石橋、佐藤、野口、阿部、藤吉

骨は毎日、古い部分を溶かし、新しい骨を作って生まれ変わっています。
しかし、骨が溶かされた分を作りきれなくなると骨粗鬆症になってしまいます。

【効能・効果】

骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用法用量】

通常、成人には1日1回テリパラチド（遺伝子組換え）として20 μ gを皮下に注射する。
なお、本剤の投与は24ヶ月間までとすること。

【特徴】

- ・骨形成を促進することで骨粗鬆症を治療する日本初の副甲状腺ホルモン製剤。
- ・従来の骨吸収抑制剤とは異なり、新しい骨の形成を促進することで骨微細構造を再構築し、骨強度を高めて新たな骨折のリスクを軽減します。

【副作用】

- ・主な副作用は血中尿酸上昇(3.6%)、頭痛(2.8%)、悪心(2.8%)、ALP上昇(2.0%)など

【その他】

- ・活性型ビタミンD製剤との併用は血清カルシウム値を上昇させる可能性があるので注意すること。
- ・空打ちは開封後1回のみ。
- ・インシュリンのように用量調節はなく、ボタンを押して注射するだけでよい。

【考察】

骨密度が極度に低下しているなど脆弱性骨折のリスクが高い患者に使用できるより速やかに強力で骨構築する薬剤として期待されています。今までの内服の薬剤とは違い、18ヵ月と期間が決まっていることが患者さんの継続意欲にプラスに働くのではないかと考えます。

【質問事項】

- ・患者様の問い合わせで一番多かった質問は？⇒開封した注射の使用期限(28日間)や保存方法(冷蔵庫で凍結を避け、2~8 $^{\circ}$ Cで遮光保存)。
- ・どの程度の骨代謝マーカーが変化したら治療効果があるのか、変化率ではなく絶対値で効果の判定がされないのはなぜか？⇒ガイドラインでは最小有意変化(MSC)と変化率で評価されているから。